



コンプライアンス

コンプライアンス体制の整備

2006年4月、「大塚化学ホールディングスグループ行動宣言」ならびに「大塚化学ホールディングスグループ コンプライアンスプログラム」を定め、法令遵守はもとより社会規範を尊重し企業倫理に則った行動をとることを指針とするよう社内体制を整備してまいります。

大塚化学ホールディングスグループ行動宣言

基本宣言

私たちは、お客様、株主、取引先をはじめとするすべての皆様との『信頼の構築』のために、法令を遵守し、社会倫理に適合した企業活動を実践します。

社会に信頼されるために

私たちは、企業市民として社会的責任を果たすべく努力します。

私たちは、社会倫理を十分に認識し、誠実に行動します。

私たちは、地球環境の保護に配慮し、資源の節約や再利用、環境に与える負荷の低減に努めます。

(一部抜粋)

コンプライアンスプログラム

環境保全・保護

- (1) 製品の研究、開発、製造にあたっては、常に環境保護の重要性を認識し、環境に配慮した製品作りを行います。また、製品のライフサイクル全般を通して廃棄物の発生の抑制に努めます。
- (2) 環境意識の向上を図り、資源の節約等の環境保護活動に積極的に参加します。
- (3) 環境に関する条約、法令等をよく理解し、遵守に努めます。

(一部抜粋)

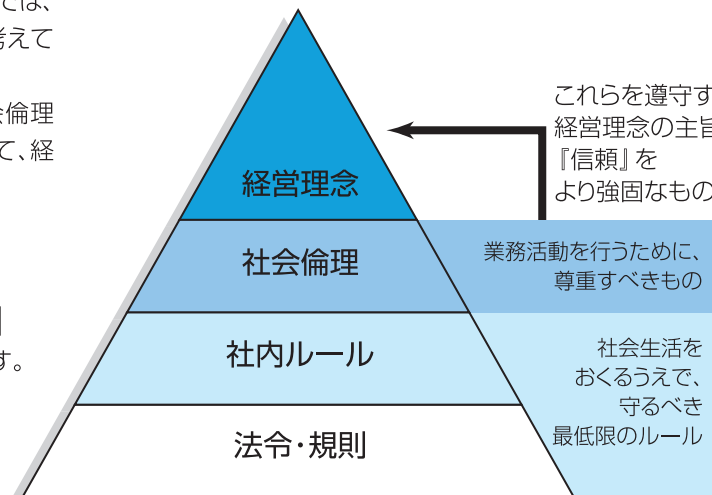
研修内容(一例)

コンプライアンスの定義

大塚化学ホールディングスグループでは、コンプライアンスを以下のように考えています。

法令・規制の遵守はもとより、社会倫理に適合した行動を取ることによって、経営理念である

『私も信頼、会社も信頼、信頼は社会の夢、技術と心で信頼の構築』
という企業理念の実現を目指します。



コンプライアンス規程に遵守すべき内容を記載しています。

取り組み内容

大塚化学が、これまで以上にお客さまから信頼され、選択される企業としてあるために、適正な事業活動の推進とともに、法令や倫理の遵守が不可欠です。当社は役員および従業員一人ひとりがしっかりとした遵法意識と倫理観を持ち、その意識と行動をとるために「大塚化学ホールディングスグループ行動宣言」、「コンプライアンスプログラム」に基づく以下の取り組みを行います。

実施月	取り組み内容
4月	新入社員研修
4月	グループコンプライアンス事務局会議 (3ヶ月に1回の開催予定)
4~5月(実施予定)	コンプライアンス推進リーダー研修
5~6月(実施予定)	社員研修
7~8月(実施予定)	コンプライアンス自主点検 (チェックリストによる現状の意識確認)



安全衛生

大塚化学は、「みんなで達成ゼロ災!」のスローガンのもと、法令・規定・マニュアルを順守し、労働災害防止のため、健康管理、快適な職場環境の実現、労働条件の改善を通じて社員の安全と健康を確保することに努めています。又、全員参加で安全衛生・防災活動の継続的な改善を実施しています。2005年9月に社外相談窓口「大塚化学24時間健康相談」を開設しました。

健康管理

社員の健康チェックと疾病予防のための一般健診、特殊作業従事者の特殊健診等を定期的実施しています。又、産業医の意見聴取においては有所見者の事後措置を確実に実施し健康増進に期しています。

メンタルヘルスケア

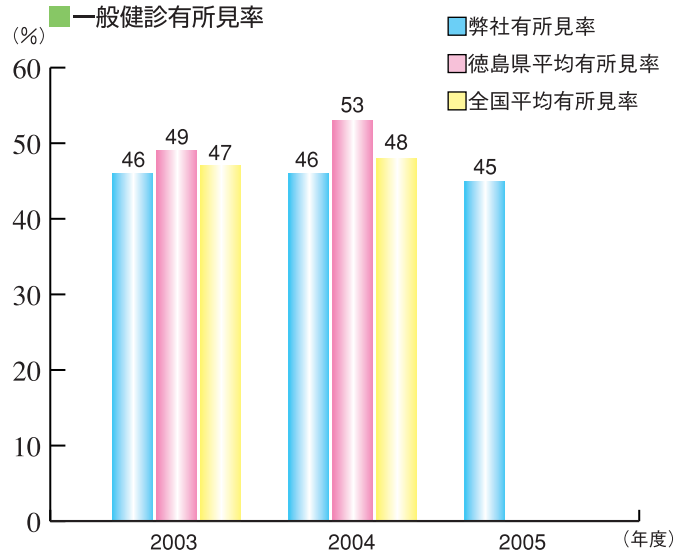
2004年より中央労働災害防止協会のメンタルヘルス指針推進モデル事業場となっている当社徳島事業所を中心として、「社員の健康」に関する教育・研修を実施しています。

■支援専門家による一般社員向けセルフケア研修
「メンタルヘルスに関する基礎知識及びストレスへの気づきと対処」

	実施日	受講者
第1回	2005.7.15	74名
第2回	2005.9.21	73名
第3回	2005.10.14	67名
第4回	2005.11.11	71名
第5回	2005.12.9	83名

快適職場環境

作業環境測定の実施は基より、5S活動の継続的実施、新規設備機器の事前評価による安全性の確保、適正な作業方法の確立、さらには、分煙化推進による環境管理の充実にて健康で安全な職場環境づくりに努めています。毎年、春と秋に社内の親睦と健康増進を目的にテニス大会を実施しています。



※2005年度全国平均有所見率および徳島県平均有所見率は、集計中です。



セルフケア研修



5S活動ポスター



テニス大会



地域社会との繋がり

技術交流会

栽培研究センターには、全国より年間約2,000名の方々が訪れています。各地域で農業を営む方々と、良い作物を多く安定的に収穫するための栽培技術について地域や作物特性に応じた勉強会を重ねています。



各地域の農業従事者との技術交流会



養液土耕システムの仕組みについて意見を交換する来訪の方々

体験学習

地元地域の小学生に農作物に親しんでもらう体験学習の機会を提供しています。いろいろな色や形の果物、野菜や花が生育している圃場を回りながら、農作物に必要な栄養や害虫や病気から守る安全な薬、栽培の工夫について学び、高糖度トマトの試食も楽しんでもらっています。参加した子供達からは多くの発見や驚きについての手紙を寄せられるようになりました。



高糖度トマトが計画生産できるプラント



栽培研究センターを訪れた子供達からの手紙

阿波踊りへの参加

大塚化学は、毎年盛夏の一大イベントとして開催される阿波踊りに参加しています。大塚食品(株)や大塚倉庫(株)の社員と共に編成している「大塚はつらつ連」の精錬された踊りは観客の皆様からもご好評を頂いております。当地のみならず顧客企業のイベントや海外でも披露することがあり、徳島の文化活動として楽しく取り組んでいます。



演舞場に躍り込む「大塚はつらつ連」



徳島事業所

- 所在地 徳島県徳島市川内町加賀須野463
- 創業開始 1969年(昭和44年)
- 従業員数 391名(2006年1月現在)
- 事業内容 化学品、医薬品原料の製造及び研究開発

■環境配慮への取り組み状況

徳島事業所で製造する製品は、ヒドラジン化合物、医薬品原料、無機塩類、食品添加物の香料からブレーキパッドやOA・モバイル機器等に使用される機能性材料など多岐に渡り、研究開発も行っています。また大塚製薬(株)、大鵬薬品工業(株)他、グループ各事業所への電気・蒸気・水道水の供給も行っています。環境への取り組みは、設置当初の1974年(昭和49年)から徳島県並びに徳島市と公害防止協定を締結し、環境管理活動を行ってまいりました。1999年にはISO14001を認証取得し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図っています。又、ヒドラジン化合物製造事業を再編し、PRTR対象物質の排出量、移動量を削減することができました。徳島事業場は敷地を大塚食品(株)と一部共有しており、毎年たくさんの方の見学者を迎え入れています。



■エネルギー使用量

	2003年度	2004年度	2005年度
電力(千kWh)	55,958	52,186	48,973
重油(kℓ)※	40,962	32,676	29,713
LPG(t)	1,506	1,508	1,570

※重油は、大塚グループ各事業所への電気・蒸気製造のための使用を含みます。

■廃棄物

	2003年度	2004年度	2005年度
発生量(t)	10,197	10,269	9,785
排出量(t)	3,070	2,861	2,585
中間処理量(t)	1,821	1,564	1,548
再資源化量(t)	600	651	523
最終処分量(t)	649	646	514

■環境負荷データ(2006年1月測定値)

項目	単位	規制値			測定値	測定頻度	備考	
		法規制	条例※	公害防止協定				
大気汚染	NOx	ppm	230	—	—	194	連続	ボイラー3号
	//	ppm	150	—	—	134	連続	ボイラー1、2、4、5号
	//	ppm	250	—	—	122	連続	焼却炉
	//	ppm	950	—	—	341	連続	ディーゼル機関2基
	SOx	m ³ N/h	—	—	39	6.11	連続	工場全体
	ばいじん	g/m ³ N	0.15	—	—	0.017	毎年2回	焼却炉
水質汚濁	COD	mg/ℓ	—	—	40(30)	12.8	連続	最終放流水
	BOD	mg/ℓ	—	78.4(62.5)	—	16.1	毎週	
	SS	mg/ℓ	—	77.5(61.6)	—	3.5	毎日	
	pH		5.8~8.6	—	—	7.01	連続	
	T-N	mg/ℓ	120(60)	—	—	5.0	連続	
	T-P	mg/ℓ	16(8)	—	—	0.66	連続	
騒音	朝(5:00~7:00)	dB	—	—	<60	54	毎月2回	敷地境界線
	昼間(7:00~19:00)	dB	—	—	<65	55	毎月2回	
	夕(19:00~22:00)	dB	—	—	<60	55	毎月2回	
	夜間(22:00~5:00)	dB	—	—	<55	53	毎月2回	

※徳島県生活環境保全条例
()内は、日間平均



鳴門事業所

- 所在地 徳島県鳴門市里浦町里浦字花面615
- 創業開始 1950年(昭和25年)
- 従業員数 138名(2006年1月現在)
- 事業内容 無機・有機化学品、
肥料、農薬の製造及び農薬の研究開発



■環境配慮への取り組み状況

鳴門事業所は、硝酸カリ、塩化カリ等の無機化学品、医薬原料・硬化剤原料等の有機化学品、肥料、農薬の製造及び農薬関連の研究開発を行っています。

環境面では1976年(昭和51年)から徳島県並びに鳴門市と公害防止協定を締結、環境関連の法を順守し、地球環境・地域社会への影響を常に配慮し管理活動を行っています。また、廃棄物の分別・リサイクルに取り組み、2005年9月8日にはISO14001の認証取得しました。従業員一同、これまで以上に十分環境保全に留意し運営に努めてまいります。

■エネルギー使用量

	2003年度	2004年度	2005年度
電力(千kWh)	4,098	5,730	5,559

■廃棄物

	2003年度	2004年度	2005年度
発生量(t)	1,274	1,698	798
排出量(t)	534	919	745
中間処理量(t)	333	776	592
再資源化量(t)	80	74	45
最終処分量(t)	121	69	108

■環境負荷データ(2006年1月測定値)

項目	単位	規制値			測定値	測定頻度	備考	
		法規制	条例※	公害防止協定				
水質汚濁	COD	mg/l	—	—	40(30)	7.5	連続	最終放流水
	BOD	mg/l	—	82(101)	—	9.7	毎月1回	
	SS	mg/l	—	84(66)	—	3.8	毎日	
	pH		5.8~8.6	—	—	6.4	連続	
	T-N	mg/l	120(60)	—	—	4.63	連続	
	T-P	mg/l	16(8)	—	—	0.143	連続	
騒音	朝(5:00~7:00)	dB	—	—	<60	52.8	毎月1回	敷地境界線
	昼間(7:00~19:00)	dB	—	—	<65	57.3	毎月1回	
	夕(19:00~22:00)	dB	—	—	<60	51.6	毎月1回	
	夜間(22:00~5:00)	dB	—	—	<55	53.6	毎月1回	

※徳島県生活環境保全条例
()内は、日間平均



松茂事業所

- 所在地 徳島県板野郡松茂町豊久字豊久開拓139-40
- 創業開始 2000年(平成12年)
- 従業員数 50名(2006年1月現在)
- 事業内容 医薬品中間体、
プラスチック成形材料製造



■環境配慮への取り組み状況

松茂工場は、医薬品中間体、プラスチック成形材料の製造を行っています。

環境面においては、ISO14001の認証取得を2005年9月8日に拡大更新しました。認証取得した事により一層、環境保全活動に取り組んでいます。電気、重油等の使用量の削減、廃棄物の排出量削減と蛍光灯(2005年11月リサイクル開始)・廃パレット(2005年6月リサイクル開始)・ダンボール(2005年11月リサイクル開始)のリサイクルを行いました。

また、毎年実施されている「海をきれいにする運動」に参加し、砂浜や工業団地周辺の清掃を行っています。

■エネルギー使用量

	2003年度	2004年度	2005年度
電力(千kWh)	4,156	8,916	8,153
重油(kℓ)	508	1,520	1,002
LPG(t)	57	121	77

■廃棄物

	2003年度	2004年度	2005年度
発生量(t)	1,825	4,835	3,904
排出量(t)	249	339	306
中間処理量(t)	37	37	44
再資源化量(t)	0	0	21
最終処分量(t)	212	302	241

■環境負荷データ(2006年1月測定値)

項目	単位	規制値			測定値	測定頻度	備考
		法規制	条例※	公害防止協定			
大気汚染	NOx	ppm	250	—	—	116	焼却炉
	SOx	m ³ N/h	5.06	—	—	0.0037	
	ばいじん	g/m ³ N	0.15	—	—	0.019	
水質汚濁	COD	mg/ℓ	—	—	20	2.7	最終放流水
	BOD	mg/ℓ	—	—	20	2.6	
	SS	mg/ℓ	—	—	20	0.4	
	pH		—	—	6.0~8.5	7.4	
	T-N	mg/ℓ	120(60)	—	—	0.5	
	T-P	mg/ℓ	16(8)	—	—	<0.10	
騒音	朝(5:00~7:00)	dB	—	—	<65	55.1	敷地境界線
	昼間(7:00~19:00)	dB	—	—	<70	53.9	
	夕(19:00~22:00)	dB	—	—	<65	51.2	
	夜間(22:00~5:00)	dB	—	—	<60	51.4	

※徳島県生活環境保全条例
()内は、日間平均